

最初は、電話についてのお話であります。

皆さんは、公衆電話というものを使ったことがありますか。ある調査によりますと、使ったことがないというふうに答えた子供はかなり多かったそうであります。中には、その存在を知らないという回答もありました。さらに、大人でありましても、何年も使っていないというふうに答えた人が多かったというのであります。また、皆さんは、仕事や学校へ行く途中におきまして、公衆電話がある場所を知っていますか。

昔は、町の中でありますとか家の近くにもたくさんあったのであります。ところが、今はとても少なくなりました。なぜかといえますと、多くの人が携帯電話を持つようになったからであります。また、これを設置しておくためには費用がかかります。しかし、使う人がいなければ、設置していても無駄になってしまいます。そういうことがありまして、これはだんだんと姿を消していったのであります。

しかし、数が少なくなつたとはいいまして、これがなくなることはありません。なぜなら、必要になる場合があるからであります。

例えば、災害が起こったときであります。このようなときには、多くの人たちが電話をかけようとして、その結果として、携帯電話がつか

なかりにくくなるのであります。これでは、警察でありますとか消防などへの連絡がスムーズにできません。そういったことを防ぐために、電話が制限されることが出てくるのであります。しかしながら、公衆電話というのは制限されることはありません。つまり、災害が起こったときには、これがとても重要な役割を果たすのであります。

また、当然のことではありますが、全ての人が携帯電話を持つているわけではありません。たとえ持っていたとしても、電池が切れてしまうことがあります。あるいは、電話をつなぐ施設でトラブルが起こることもあります。このようなときも、公衆電話が役に立ちます。つまり、これは連絡のための手段を確保するという役割を担っているのであります。そのため、決められた基準で設置されているのであります。そうはいいまでも、公衆電話の数というのはこれからも減っていくことが予想されます。ですので、どこにあるのかということをおぼろげから確認しておくことが大切であります。そして、家族などの電話番号を紙に書いて持つていけると安心であります。

皆さんも、この機会に、公衆電話のある場所や使い方を確認してみてはいかがでしょうか。次のお話に移ります。

私は、猫を飼っています。どのような猫かといえますと、黒い色をしているのであります。先日、この猫を見ていまして思ったことがありますので、そのことについてのお話をしたいと思います。

外国におきましては、黒い猫を見かけますと悪いことが起こるといふふうに言われています。しかし、日本におきましては、その逆であります。よいことが起こるとされていたのであります。

そこで、私は、なぜこのようなことが言われてきたのかを調べてみることにしました。

昔のことではありますが、外国におきましては、黒い猫は、その体の色が夜をイメージさせるものであります。夜というのは、明かりがなければ何も見えません。ですので、人々は夜を恐れていました。このことから、黒い猫を見かけますと、何か悪いことが起こるのではないかと思つたのであります。そして、そのような気持ちを持つた人々は、ある行動をしました。何をしたかといえますと、黒い猫を差別し、まして、ひどく苦しめたのであります。さらに、その飼い主にも同じようにひどいことをしたそうであります。私は、信じられない気持ちでいっぱいになりました。そして、黒い猫がこのような扱いを受けていたことを知りまして、悲しくなつ

たのであります。

しかし、実際はどうなのでしょう。私には黒い猫がいます。です、私は毎日その姿を見えています。だからといって、いつも悪いことばかりが起こっているのかといいますと、決してそのようなことはないであります。

さて、先ほども述べましたが、黒い猫に關しまして、日本では、よいことが起こると言われてきました。例えば、黒い猫がいると商売がうまくいくというものであります。猫は、夜でありますしても、よく物が見える生き物であります。したがって、物事の見通しをよくするといふふうで考えられていたのであります。

ここまで調べまして、黒い猫にはいろいろな歴史があることが分かりました。特に、一部の人間におきましては、色が黒いというだけで差別をしていたのであります。これは、私たち人間が勝手に決めつけたものであります。さらに、これは猫に限った話ではありません。同じ人間に対しても、こうした差別をしているのであります。しかし、このような差別がなくなれば、幸せに暮らしていけるはずであります。私は、家でのんびりと過ごしている黒い猫を見ながら、世の中が平和になることを願ったのであります。

最後のお話をします。

私は、料理があまり得意ではありません。先日、野菜を使い切ることができなかったのであります。もったいないと思いつながら、捨ててしまおうということがありました。

ある日、その話を友人にしましたら、よいことを教えてもらいました。それは、野菜を保存する方法についてであります。もう少し詳しく言いますと、日当たりのよい場所に野菜を干すのであります。そして、長く保存できるようにするという方法であります。これを皆さんにも紹介したいと思つてあります。

作り方はとても簡単であります。まず、野菜をよく洗います。次に、水分をしっかりと取りましたら、できるだけ同じ大きさに切ります。これをざるの上に並べます。そして、ペランダなどで干します。

このように、作り方は簡単ですが、少し気をつけたいことがあります。まず、湿度が低い晴れた日に干すようにします。時間帯としては、午前中から夕方くらいまでがよいとされています。これで、ある程度の水分がなくなります。夜は湿度が高くなりますので、部屋の中へ入れましょう。これを繰り返し返しますと、より長く保存できるものになるといふわけであります。

また、外に干しますので、ざるの上に置くだけ

けでは心配になるかもしれません。そのようなときは、野菜を干すための道具があります。これは、箱のような形をしていまして、風をよく通します。この中に野菜を入れておきますと、虫でありますとかほこりなどがつくことを防げるのであります。

ところで、これから雨の多い季節になります。さらに、夏はとも湿度が高くなります。そういうときは、部屋の中で干すこともできます。

その場合には、窓の近くなどの風通しがよくところで干します。ほかに、電子レンジでありますとかオーブンを使うという方法もあります。

こうして野菜を干しますと、水分がなくなりますので、小さくなります。つまり、生の状態よりも、たくさん量を食べることができるようになるのであります。また、水分がなくなることで、味が濃くなります。そのため、簡単な味つけでおいしく食べることが出来ます。さらには、いつもであれば皮をむく野菜でありまして、そのまま食べられるものも多いのであります。つまり、生ごみを減らすことが出来るのであります。これは、食品ロスを削減するということにもつながります。

私は、野菜を無駄にすることがないように、こうした方法も取り入れていきたいと思つていきます。(了)